

## 合格体験記 7

東京農工大学 農学部 進学

他の主な合格校 : 明治大学農学部 法政大学生命科学部

### 1 志望校決定について

将来食品関係の仕事をしたいと思い、農学部がある国公立大学である農工大を選んだ。

### 2 学習計画について

#### (1) 1、2年次の学習について

小テスト対策は毎回していた。定期テストは2週間前から意識して勉強していた。まず提出物を終わらせ、**基礎**を身に付ける。その後**苦手な分野や暗記**に取り組んだ。

#### (2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

授業は予習復習も含め大事にしていた。

私の場合は計画通りにできないと嫌になってしまうため、**計画は大雑把**に立てることが多かった。

12月からセンター試験対策に焦点を当てた。センター対策(=基礎を固めること)は二次試験対策にもなると思いながらやっていた。

初心を忘れないために**合格したい気持ちを紙に書き、机に貼っていた**。

勉強場所を家や学校の自習室、図書館の自習室などいろいろな場所に変えることで気分転換をし、集中力が下がらないようにしていた。

#### (3) 利用した参考書・問題種、その利用法

進研ゼミをやっていた。届く教材を全部やるのではなく、自分が必要だと思うところだけ取り組んだ。学校で買う教材も同じ。赤本は第一志望の大学のものだけ買い、併願校は学校で借りていた。買った赤本は家の机のいつも目につくところに置いて自分の気持ちを駆り立てていた。

#### (4) 模試の活用方法

模試は受けた次の日ぐらいいまでに**復習**していた。教科別に**模試ノート**を作り、模試で間違えた問題を貼ったり、あやふやだった問題の内容を書き込んだりすることで、**もう一度同じ問題が出たら必ず解ける**ようにしていた。

#### (5) 予備校の活用方法

予備校は使わなかった。進研ゼミが塾や予備校の代わりだった。

## (6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

部活は運動部に所属していた。部活があっても勉強時間は作り出せるから、部活を言い訳にはしなかったと今では思う。電車・バス通学だったため、**通学時間を単語帳を見る時間に当てられたのは本当に大きい**。始めは効果を感じられないけれど、**毎日続けると少しずつ自分の成長を感じられるようになった**。

文化祭の準備では勉強時間が削られる焦りがあった。しかし、これも部活と同じで最後までやり通すことで満足でき、勉強への切り替えも上手くできた。

## (7) 後輩へのアドバイス

1、2年生の時から**小テストの勉強とテスト勉強**をしっかりとしたほうがいい。3年生になってから新しく学ぶのと、**思い出しながら学ぶ**のでは後者の方が**圧倒的に効率**がいい。

私は1年生の時のスタディーサポートで、ムサキタ生の中で200位台だったことで焦りを感じ、**授業の予習・復習**を他の人よりしっかりとやるようにした。すると定期テストでは順位が大幅に上がり、次は順位をキープするために勉強を続けた。今考えるとこれが大学の合格に繋がっているなどと思う。

## (8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

**部活は最後まで続けて本当に良かった**。中途半端だと気持ちが切り替えられなかったと思う。

ムサキタは勉強の面で環境が良く、周りの友達が頑張っているのを見ると自分も頑張ろうと思えて、受験は個人戦ではなく**団体戦**なんだと身をもって感じた。

受験勉強はつらかったけれど、思い返すとつらい思い出よりも行事などの楽しかった思い出の方がよく覚えていて、印象に残ったものも多い。この3年間をムサキタで過ごせて良かった。

## (9) 合格した時の喜び

合格発表の前日はとても不安で自信がなかった。合格発表時は何度も自分の受験番号と合格者番号を見比べて確認し、合格がわかったときはとても嬉しかった。しかし、合格する自信がなかったということは、まだ勉強が足りないということだと思い、**これからも頑張ろう**という気持ちにもなった。